

「学力向上ポートフォリオ(中学校版)」

学力向上目標

学習における基礎・基本の確実な定着を目指す。(Grit、Growth、Global)

○基礎的・基本的な知識・及び技能の習得

・『よい授業』アンケート②基礎アップ項目のポイントを昨年度+0.3を目指す。

○思考力・判断力・表現力等の育成

・『よい授業』アンケート④児童生徒の活動項目のポイントを昨年度+0.5を目指す。

○主体的に学習に取り組む態度の育成

・自校アンケートで、「〇〇の勉強は好きですか。」の肯定的な回答の割合を、前回の市学力調査の値より、各教科平均を3pt以上向上させた値にする。

具体的な手立て

- ①ミライシードの活用を推進し、生徒が自己調整をしながら学習を進める環境づくりをする。
- ②『よい授業』アンケート②基礎アップの「授業の最後に、学習した内容が理解できているかどうかを確認する時間がある」に焦点化した校内研修の推進をする。
- ③生徒の多様な学びの場を設定するために、様々なICTを授業で活用する。
- ④教員間で授業を見あう「授業参観期間」に取り組み、教員の教材研究の活性化を図る。

結果

- ・『よい授業』アンケート②基礎アップ項目のポイントが17.3(昨年度+0.9)で、市平均を超えた。
- ・『よい授業』アンケート④児童生徒の活動項目のポイントが16.4(昨年度+1.2)で、市平均を超えた。
- ・実施された市学習状況調査を活用した。本年度の調査で、「〇〇の勉強は好きですか。」の肯定的な回答が国語が73.4pt(前回調査68.06)、数学が67.1pt(前回調査51.23)で、3pt以上の向上が見られた。

今年度の振り返り・次年度に向けて

令和3年度の市学力状況調査から、勉強に対する肯定的な感情を高めることができた。様々な教員側の手立ての効果を、生徒自身が実感することができたからだと考える。学習への意欲面の向上が図れた一方で、基礎・基本的な知識・技能の定着には課題が見られる。学校課題研究である「すべての子どもたちの可能性をひきだす個別最適な学び」の実践を通して、一層の定着を図りたい。